

## 2026 年度事業計画

### 1. 事業活動方針

＜事業財源＞2026 年度の事業財源の債権の利息収入は、前年度より利率の良い債券への買い替えができたため前年度より 520 万円多い約 1,500 万円となる。さらに、運用財産の取り崩し約 500 万円、および前年度繰越金約 700 万円を加えたものが 2026 年度事業財源となる。

＜事業方針＞主たる事業である助成金の支給総額は、昨年度より 500 万円増額して総額 1,500 万円 とし、助成金支給先団体数と個々の支給金限度額も増やす。

神奈川県内社会福祉諸団体及び日揮グループ内へ当財団事業の周知の活動を継続する。

### 2. 事業内容

#### 2.1 社会福祉団体及び社会福祉関係のボランティア活動団体の支援

(1) 神奈川県下の障害者又は高齢者に関わる社会福祉活動を行う事業団体、ボランティア団体等を支援するために助成金を支給する。

##### ① 実施時期

4 月～5 月 助成応募申請受付

6～7 月 審査委員会で助成先を選考、助成額を決定し、その結果をもとに理事会で審議、最終決定、決定通知の発送。

8 月 助成金支給開始

2 月末 助成金交付締め切り

##### ② 助成金の使途および助成金上限額

・機器・設備購入費 : 上限 50 万円

・事業活動費(年間活動諸経費の不足、年中行事経費等) : 上限 20 万円

③ 助成金総額 1,500 万円の支給対象は以下の3つの区分に分ける。それぞれの区分に対する助成金額と助成先団体数は以下を目途とするが、応募状況により調整する。

ア) 社会福祉事業団体(法人団体、当事者団体及びその上部団体又はこれに準ずる団体、地域活動支援センター等の諸施設)への支援  
合計助成金額 900 万円、助成先団体数 45。

イ) 社会福祉ボランティア団体(市民ボランティア活動団体、当事者保護者団体等)への支援  
合計助成金額 500 万円、助成先団体数 35。

ウ) その他社会福祉活動(上記ア)、イ)以外の必要と認められた社会福祉活動を行う団体等)への支援  
合計助成金額 100 万円、助成先団体数 5。

## (2) 神奈川県福祉作文コンクール活動後援

(社福)神奈川県社会福祉協議会と(社福)神奈川県共同募金会が協賛、主催する神奈川県福祉作文コンクールへの後援、および、審査会への参加。

- ① 対象：県内小学生・中学生
- ② 助成の範囲：コンクールでの最優秀賞に対する記念品の支給助成。
- ③ 助成額：約2万円。
- ④ 時期：主催者の計画による。  
9月 募集締切、11月 審査会、12月 表彰式
- ⑤ 賞の名称：「日揮社会福祉財団ふれあい賞」

## (3) 助成先交流会・助成先訪問

### ① 助成先交流会

助成ニーズの把握と次年度以降の助成の在り方の研究。助成先同士の交流。

・時期：2026年10月または11月に1回実施。

・交流団体数：6～8団体。

### ② 助成先訪問

2026年度助成した団体又はボランティア団体の内4～5ヶ所を目途に、助成の実施確認と助成先の状況を視察。

## 2.2 外部発信活動の継続

財団事業活動周知のため、以下の発信を継続する。

### 地域社会向け

・財団ステッカーの助成先への配布

助成金で購入した機器・設備、イベントポスターにステッカーを貼ってもらう。

ステッカーが貼られたポスターや機器の写真をHP等の財団の広報に活用する。

・財団ホームページの充実とこまめな更新につとめる。

・財団パンフレットの県内関係各所への配布。

・社会福祉関連団体ホームページへのリンク拡大。

### 日揮グループ内向け

・JGC Portalへのホームページリンク掲載

## 3. その他、財団外の神奈川県内福祉活動への参加

(1) (社福)神奈川県社会福祉協議会の以下の3つの事業の助成事業等検討委員会に常務理事が検討審査委員として参加。

・地域福祉活動支援事業

・萬谷子ども福祉基金入学支度金審査

・かながわ交通遺児等援護基金審査

(2) みずほ信託銀行株式会社が受託している下記福祉基金運営委員会に常務理事が運営委員として参加。

・公益信託中西茂雄高齢者福祉基金

以上